

第6回エコ★カップ2013いかだ下り [9月7日]

エコな材料で組み立てた 自慢のいかだで多摩川を流れました

多摩川の宿河原堰下から手づくりいかだで川を下り、ゴール後にいかだを解体して分別するところまでがレースとなった今年のいかだ下り。川崎市と当NPO法人の主催で6回目を迎えました。

阿部川崎市長のあいさつ、選手宣誓、そして救護のデモンストレーションが行なわれて、衣装に凝った〈キラリ☆コスチューム賞〉、エコ度が優れている〈エコ度ONE大賞〉などの獲得を狙って、さ〜あスタートです。



「解体→分別」もレースの一部



ペットボトルと古い植木鉢、ベニヤ板、竹、発泡スチロールなどを組み合わせてデザインやコスチュームの面白さも競う、自慢のいかだでのレースとなりました。

ぐるぐる回り前に進まない、右へ左へと流されまっすぐ進まないいかだ。タイムより川の怖さと楽しみを体験できるいかだ下り。いかだに乗った子どもたちの大きな「進め!進め!」の掛け声と岸からの走りながらのママの声援で、あつという間の15分ほどのいかだ下りとなりました。ゴール後はその場でパパと子どもや、友だち同士でいかだの解体となり皆さん楽しそう。

分別されたゴミのトップは90L入りの袋で断熱材が50袋、次にペットボトルの45袋の順でした。来年はもっとおもしろい企画を盛り込んだいかだ下りを開催予定です。

自然豊かな美しい村 「丹波山村」の夏まつり [7月28・29日]

秩父多摩甲斐国立公園の中に位置し、多摩川の源流が流れる緑豊かな丹波山村で今年も7月28日に夏まつりが開催されました。「歌謡ショー」「カヌー体験」「マスのつかみどり」などのイベントが盛りだくさん。そして山村の特産店も多く出店されていました。

当NPO法人は多摩川で結ばれた丹波山村との交流をしています。今年もネイチャークラフトづくり教室や、エコ布草履づくり教室を開きました。昨年草履づくりがあったからと、わざわざ布の端切れを持参してくれた方がいたのが感激でした。丸太切りのイベントもしましたが、まつりに来た方の中には林業をされている方もいてノコギリの目立ての話題



▲童心に返って楽しんだカヌー体験



◀東北支援物産販売を応援

で盛り上がりました。また社会福祉法人「はぐるまの会」の東北支援物産販売の応援もしました。

翌29日は夏まつり会場をクリーンアップする予定でしたが、あいにくの大雨で中止。その後、村の郷土歴史民俗資料館で草木染めを体験しました。

来年も7月末の日曜日に開催予定と聞いています。